

小47期 活躍の場を拓げる47期生

「級友からの嬉しい便り」

吉本前会長もメンバーの先頭に、昭和11年卒の「サムライ」たちは、毎年の同期会を楽しみにしている。『生徒出陣』の仲間たちだ。今年6月2日(土)に、初めて大阪川ビルの1階力マートで昼間に行われた。

もう30年近くも続いていくこの会は、最初のうち、い組の赤松義夫さん、中井晃さん、前田芳郎さんが引張り、『どっせやるなら』と2カ月に一度の顔合わせとなり、会場も梅田近辺を転々としながら、話題も豊富な『おしゃべり会』で見聞を広めている。

今回、山桜会長、吉本晴彦さんの勇退を機に、同期のわれら一同お世話にあずかた次第、店は昼過ぎ若者で満員だ



が、一部屋借り切りなので打ち合わせなどにはもってこい。ジヨキがついておらず取り放題、一人五千円也の大サービスである。

小76期 ホームページを開設!!

この度、追手門学院小学部76期生は組のホームページを作成しました。同窓会情報や、掲示板もありますので、ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.surprise-s.co.jp/76/>

席落語で、満場を笑いにまぎ込んでいた。いま奥様とともにも新内のお師匠さんでアチコチで、弥八の新内を聴く会が催されている。10月11日夜、ツバ上方7階での、一本刀士俵入り、弥八弾語り弥八子掛合いは熱演だった。歌う新内から、語る新内浄瑠璃へと、並々ならぬ精進ぶり。地味な努力を続けている人も多い。ドリジボルの名手だった『ろ組』の渡辺敏彦君は一時脳「こつそくを患い、外出を控えていたが、生活を一新。岐阜県各務原市から、こんな便りが届いた。今週は予定が混んでいて出席できません。年内は「講習会」に参加して「プロ専用機」にかえ、パソコンを勉強したい。

小63期、中高6期 同期会便り



私達小学部卒63期、中高学部卒6期の63・6・6期同窓会「のネーミングも今や耳慣れたものとなり、第三回の同窓会を6月2日(土)に「Iガロイヤルホテル」で開催しました。



茨高23期 同窓会

9月1日帝国ホテル大阪「パタパタテラサルサ」に58名が集まりました。先生も5名ご出席頂きました。写真で顔と名前一致しますが、先生は卒業して26年経ってもわかりやすいですね。神谷先生、石川先生、松宮先生、森先生、黒田先生です。在校中に培われた皆が協力して作り上げていく精神が活かされ、会は大変盛り上がりしました。皆「顔」して写っています。次回2年後、3組が幹事クラスで開催されます。今回より多くの人数が集まり、旧交を温めましょう。

小62期 3組 赤井先生を囲む会



入会名付けて、赤井先生を囲む会を開催しました。小学校を卒業して50年が経過し、既に故人となられた方が数名おられますが、26人もの同級生が集まりました。赤井先生は83歳と高齢のうえ眼が不自由ですが、「子息様の介添えで出席していただき、我々の無理を聞いていただき、50年振りの人や東京方面の遠方からの人が多く出席され、特に女性が10名と華やかに盛り上がり楽しいひと時でした。還暦を過ぎてまだまだ現役で活躍している人も、悠々自適の生活をしている人も、昔の思い出に花が咲き、時の経つのも忘れてしまいました。

小64期、中高7期 同窓会

いくら化粧をしても、いくら若々しく糖でも、会場に集合した者すべて同じ年齢。ただ、みんなそれなりに上手に年令を重ねた者はかりである。



誰れ一人として欠けることのないことを祈りつつ、次会へ。5月26日(土)は次の日曜日まで「ミニ」は燃えていたのである。